主催：金沢大学環日本海域環境研究センター
後援：金沢市教育委員会

サメにさわれるかも！？
首長竜の化石や
骨の標本などの
展示もあるよ！

市民講演会

深海から宇宙まで

対象：小学校高学年からおとなまで

平成30年7月28日(土) 13:00～15:00 (開場12:30)

金沢海みらい図書館 １Ｆ交流ホール

（〒920-0341　金沢市寺中町イ1-1）

入場無料・申込不要

海底に沈んだクジラがつくる生態系
―鯨骨マンションに棲む生きもの―

ジェンキンズ ロバート（JENKINS, Robert ）
金沢大学 理工研究域地球社会基盤学系 助教

宇宙で骨に効いた薬
メラトニンの骨に対する作用

鈴木　信雄（SUZUKI, Nobuo）
金沢大学 環日本海域環境研究センター 教授

お問い合わせ
金沢大学環日本海域環境研究センター
TEL 076 (234) 6961　URL http://www.ki-net.kanazawa-u.ac.jp/

「海底に沈んだクジラがつくる生態系
ー鯨骨マンションに棲む生きものー 」

ジェンキンズ ロバート　金沢大学 理工研究域地球社会基盤学系 助教

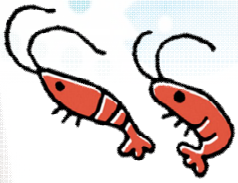
巨大な体を持つクジラが死んで海底に沈むと、鯨骨群集と呼ばれるユニークな“腐敗の生態系”が形成されます．骨の表面だけでなく、骨の中にまで棲む生きものもいます．微生物だけではなく、多くの動物達も遺骸に生息しています．中には深海の熱水域にいる深海生物の仲間も生息しています．なぜ深海の極限環境に棲む生きものが鯨骨周辺にも生息するのか？そもそも“鯨骨群集”はいつからいて、どんな生活をしているのか？恐竜が陸を闊歩していた白亜紀の海に棲んでいた首長竜の遺骸にも“竜骨群集”が形成されるのか？
今回の講演では、クジラの死体に棲む生きものを紹介し、その進化の歴史をたどってみます．

「宇宙で骨に効いた薬：メラトニンの骨に対する作用」

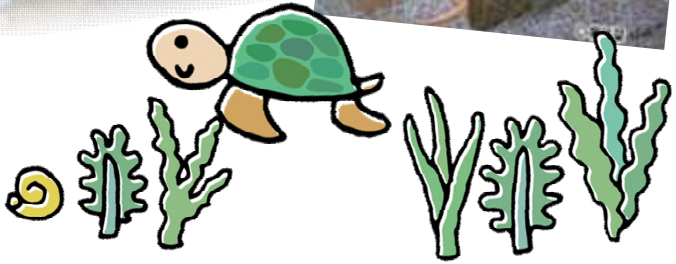
鈴木　信雄　金沢大学環日本海域環境研究センター 教授

宇宙空間では、骨からカルシウムが抜けて骨が弱くなります．そのしくみを調べ、その弱くなった骨を直す薬（メラトニン）の作用を調べる実験をしました．私が代表として計画した宇宙実験では、キンギョのウロコに注目し、ウロコをヒトの骨のモデルとすることで、宇宙実験を行なった．

この宇宙実験の担当は、野口聡一宇宙飛行士 です．
今回の講演では、 ①骨の話、②ウロコの特徴や骨の進化、そして、③宇宙実験についてお話します．また、野口宇宙飛行士が撮影したハイビジョンの映像も紹介します．



白亜紀の竜骨群集の復元画



バ　ス　／北鉄バス　金沢海みらい図書館前バス停より徒歩１分
自 動 車 ／金沢駅方面より ー 金石街道木曳野小前交差点を左折
白山市方面より ー 金沢外環状道路海側幹線より左折
おねがい／駐車台数に限りがありますので、できる限り**公共交通機関でのご来館にご協力ください。**
自動車で来館される方は、乗り合わせのうえ
臨時駐車場ポリテクセンター石川をご利用ください。